

## 事故報告書記載事項等について

詳しくは  
第5条・第6条・第7条  
を参照

入居者が施設内にいる間に発生した次の事故について、報告が必要<sup>(※)</sup>です。  
(※施設側の過失の有無は問いません。傷病については、受診を要したものを原則とします。)

事故の種別	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 死亡(加齢等が原因でないもの)</li><li>・ 転倒</li><li>・ 転落</li><li>・ 誤嚥・窒息</li><li>・ 誤飲</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 異食</li><li>・ 誤薬、与薬もれ等</li><li>・ 医療処置関連(チューブ抜去等)</li><li>・ 熱傷</li><li>・ 離設</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 紛失、破損</li><li>・ 食中毒、感染症等</li><li>・ 利用者同士のトラブル</li><li>・ 職員の違法行為、不祥事</li><li>・ その他( )</li></ul>
-------	--	---	--

### 留意事項

- ・ 記載ミス等がないように注意すること。
- ・ 鉛筆・消えるボールペン等で記載しないこと。
- ・ 提出は、郵送または直持ちとすること。
- ・ 事故発生後、概ね5日以内を目安に報告を行うこと。

### 記載方法

#### 1 事故状況

該当項目にレ点を入れる。

#### 2 事業所の概要

施設に関する情報(法人名、施設名、事業所番号(該当する場合のみ)、サービス種別、施設の所在地、記載者氏名、電話番号)を全て記載すること。

#### 3 対象者

入居者に関する情報を全て記入すること。

#### 4 事故の概要

##### ① 発生日時

感染症や食中毒の報告においては、最初の感染が確認された日時を記入すること。

いつ受傷したか分からない怪我(骨折等)の報告においては、最初に怪我が確認された日時を記入する。

##### ② 発生場所

事故が発生した場所について、該当項目にレ点を入れる。

##### ③ 事故の種類

該当項目全てにレ点を入れる。

##### ④ 発生時状況、事故内容の詳細

発生(発見)時の状況や事故の詳細について記載すること。

## 5 事故発生時の対応

### ① 発生時の対応

事故発生時の対応について、時系列に沿って具体的に記入すること。

### ② 受診方法、診断名、診断内容、検査、処置等の概要

該当する項目にレ点を入れ、いずれにも該当しない場合はその他に記入すること。

## 6 事故発生後の状況

### ① 利用者の状況

事故発生後の利用者（入居者）の状況について、簡潔に記入すること。

### ② 家族等への報告

配偶者又は子、子の配偶者に該当しない場合は、その他に記載すること。

報告年月日を抜かりなく記載すること。

### ③ 連絡した関係機関、追加対応予定

該当があれば記載すること。

## 7 事故の原因分析

\*原因分析はあらゆる視点から振り返りを行うこと。

- ・適切なリスクアセスメントやケアができていれば発生していない事故ではなかったか
- ・事故が起こる兆候を見逃してはいなかったか
- ・ケア体制及び見守り体制は十分だったか
- ・利用者の心身状況に応じたケアを行っていたか
- ・環境・設備に問題はなかったか
- ・手順は遵守されていたか 等

\*多職種の職員により検討すること。

## 8 再発防止策

原因分析に対して、今後行う対応や再発防止策を具体的に記入する。

## 9 その他 特記すべき事項

特記事項等があれば記載する。

## 10 提出前チェックリスト

確認した項目全てにレ点を入れる。